

第4章

小中学生向け 講義用テキスト 《講義型》

I 講義用テキストの使用にあたって

はじめに

このシナリオは、体育館や講堂で行う大人数での租税教室又は時間の制約上、グループ分けして参加・体験型の授業が行えない等の理由で講義形式の授業を行う場合を想定して作成しました。

講義形式の授業は、児童生徒の集中力が途切れやすくなるため、途中で税金に関するクイズを取り入れています。その他にも、随時タイムリーな話題や児童生徒の興味を引き付ける話題を織り込んで、飽きさせないよう工夫してください。

児童生徒には、常に自分だったらどうするかと「考えさせる」ことを念頭に置いて講義を進め、適宜、挙手をしてもらうなどして「理解度」を深める工夫をしてください。

目 的

新学習指導要領では、社会科の目標を、「国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を（中略）育成する」とされています。

これを踏まえて、以下の五つの項目を盛り込んで作成しています。

1. 租税の意義・役割
2. 税金の種類と仕組み
3. 租税法律主義
4. 申告納税制度の理念
5. 財源の確保と配分という観点から見た財政の役割

そして、税金を通して次世代の民主主義の担い手である児童生徒が、平和で民主的な国家・社会を自ら考えて構築していけるように、「考え」「理解」してもらえる講義を行うことを目的に作成しています。

留 意 点

用語については、児童生徒に理解しやすいように、法律用語等に代えて分かりやすい言葉を使っている部分があります。

また、数字に関しては、細かい数字よりも全体を把握しやすいように、単位をそろえるため、四捨五入等の処理をした数字を用いています。

シナリオに関しては、パワーポイントの説明をしやすいように、モデル例として作成しましたが、時間等の制約上適宜、省略・補足して使用してください。

税理士の仕事の説明は、最初の自己紹介時にする場合も多いと思いますが、申告納税制度の説明のあとが理解しやすいこと、時間の制約上、省略しやすいことを考慮し、最後に記載してあります。

シナリオの赤字の部分は、補足説明やパワーポイント操作上の注意点を示してあります。

学習指導要領の学習の段階として「習得・活用・探求」の三つのうち、パワーポイントによる学習は、習得的学習といえます。最後尾の「宿題」を利用し租税教室の後、活用・探求的学習につながるように、担任の先生に引き継ぎをすることが理想的といえます。

II

授業時間モデル〈講義型 45分〉

テーマ		No.	内容及び目的	時間
導入	はじめに	0	税理士による小中学生のための租税教室	5分
		1	今日のお話	
		2	税金を通して学んでほしいこと	
1. 税金の意義・役割 (テーマⅠ)	税金はなぜ必要なの？	3	税金はなぜ必要なの？	10分
		4	税金はこんなところに使われている	
		5	何のために	
		6	税金クイズ①（1人あたりの年間教育費）	
		7	税金がなかったら！	
		8	税金はみんなのために	
2. 税金の種類と仕組み (テーマⅡ)	1. 公平に集めるって？	9	税金クイズ②（日本の税金の種類）	23分
		10	税金の集め方ー公平ー	
		11	税金の集め方①ーみんなから同じ金額を集める方法ー	
		12	税金の集め方②ー特定の人が全額負担する方法ー	
		13	税金の集め方③ーみんなから同じ率で集める方法ー	
		14	税金の集め方④ー負担する能力に応じて集める方法ー	
		15	どれが公平な集め方？	
		16	税金をいろいろな方法、組み合わせで集めたら公平かな？	
	2. 公平に使うって？	17	税金の使い方ー公平ー	
		18	税金を公平に使うって？	
		19	豊かな町づくり	
	3. 税金から見た民主主義	20	民主主義ー「私たちが主人公」「思いやり」ー	
		21	税金から見た民主主義って何？① ー私たちが主人公（国民主権）ー	
		22	税金から見た民主主義って何？② ー法律を作る（租税法律主義）ー	
		23	税金から見た民主主義って何？③ ー私たちが負担（申告納税）ー	
		24	税金から見た民主主義って何？④ ー税金の活用（公平・効率）ー	
		25	税金から見た民主主義って何？⑤ ーまとめー	
		26	民主主義を支えるものー「日本国憲法」ー	
		27	申告納税制度	
3. 財政の役割 (テーマⅢ)	財源の確保と配分という観点から見た財政の役割	28	財政の現状と課題	5分 中学生向け 10分
		29	国の公債残高の推移	
		30	日本の財政	
		31	少子高齢化〈中学生向け〉	
		32	今後の課題	
		33	今日の授業で覚えておいてほしいこと	
おわりに	おわりに	34	税理士の仕事	
				計43分 中学生向け 計48分

※時間はあくまでも目安です。

講義を行う際の解説書を付属DVDに収録していますのでご確認ください。



講義用テキスト

《 》内は解説書での対応項目 ※解説書はDVDに収録しています。

導入

〈このテーマは約5分〉

はじめに

0

税理士による小中学生のための租税教室



【授業開始前に】

パソコン、プロジェクターの環境を整え、
パワーポイントスライドショーのトップ
画面を出しておくこと。

【授業開始となりました】《自己紹介》

担任の先生より講師の紹介

簡単に自己紹介

こんにちは（大きな声で）

税理士の〇〇〇〇です

（補助講師の紹介）

税理士とは、税金の専門家（スペシャリスト）です。

日本では（原則として）自分の税金は自分で計算して自分で納めます。

その計算は、税法という法律に従って計算しますが、この法律は難しいので、税法の専門家である税理士が、税金の計算をしたりいろいろなお手伝いをしています。

（ここで、つかみとして、児童生徒の興味を引くような相談例の話などをするのもよいでしょう。）

と言ってトップ画面を[\[クリック\]](#)

1 今日のお話

今日のお話

- ・税金はなぜ必要なの？
- ・公平に集めるって？
- ・公平に使うって？
- ・税金から見た民主主義
- ・日本の財政と課題

今日のお話《テーマの発表》

(学習の内容を最初に伝えておくことはとても重要です。今何について勉強しているのか、常に意識してもらいましょう。)

税金がなぜ必要なのか、誰のために使われるのかというお話。

- ・税金の集め方
- ・税金の使い方
- ・税金から見た民主主義
- ・日本が抱える財政の課題

キーワードは「公平」です。



[クリック]で次画面へ

2 税金を通して学んでほしいこと

税金を通して
学んでほしいこと

- ・ 思 い や り
- ・ 私たちが主人公

税金を通して学んでほしいこと 《租税教育の目的》

だけど、今日の授業の本当の目的は、「税金を通して」

「思いやり」と「私たちが主人公」ということを理解してほしいのです。

今は、ちょっと難しく聞こえるけど、最後まで聞くときっと理解できると思います。



[クリック]で次画面へ

1. 税金の意義・役割（テーマⅠ）

〈このテーマは約10分〉

税金はなぜ必要なの？

3 税金はなぜ必要なの？

税金はなぜ必要なの？



税金はなぜ必要なの？

なくても困らないし、
使えるお金が増えるから
ない方がいいと思う。



なかったら、困ることが
出てくるんじゃないかしら？



税金はなぜ必要なの？

なくても困らないし、
使えるお金が増えるから
ない方がいいと思う。



なかったら、困ることが
出てくるんじゃないかしら？



税金は、何に使われてる
のかな？

税金はなぜ必要なの？

《税金の意義》

皆さんは、税金ってなんだか知っていますか？

税金はどのようなものか説明するのは、とても難しいので、最初に税金はなぜ必要なのかというところから考えていきたいと思っています。

（順番に[\[クリック\]](#)）

ある子は、「税金はなくても困らないし、税金がなければ使えるお金が増えるから、ない方がいい」と考えています。

また、ある子は、「税金がなかったら、困ることが出てくるんじゃないかしら？」と不安に思っています。

「困ることって何だろうね？」

と問いかける。



[\[クリック\]](#)で次画面へ

4 税金はこんなところに使われている

税金はこんなところに使われている



税金はこんなところに使われている



税金はこんなところに使われている 《税金の身近な使途》

そこで、2人は、税金が何に使われているのか調べてみることにしました。

(順番に[クリック])

税金がどんなところで使われているかというと、

- ・税金で道路工事や、アスファルト舗装したり、横断歩道や歩道橋、信号機が作られたりしています。
- ・市民病院も税金で建てられているんだね。
- ・公立学校の校舎、体育館やプール、教科書のほか、公立学校で教えている先生のお給料も税金から支払われているんだ。

(私立学校の場合には要注意)

- ・消防車や救急車の費用も税金でまかなわれているんだね。
- ・警察署の建物やお巡りさんのお給料も税金から支払われているんだ。
- ・お年寄りの身の回りの世話をする介護制度にも、税金は使われているんだね。
- ・洪水を防いだり、水不足の時に貯めていた水を利用するダムにも税金は使われているよ。
- ・みんなが走ったり遊んだりする公園も、税金で作られているんだね。

これ以外にも、皆さんの周りには税金が使われているところがたくさんあります。

(時間を見て、このほかに、「考えついた人、手を挙げて！ハイ、君」といって答えさせる。)



[クリック]で次画面へ

5 何のために

何のために



何のために



何のために《税金の意義》

「税金が何のためにあるか、何となく分かりましたか？」

「そう、みんなが」

(先ほどの税金の使われ方から導きだす。)

(順番に[クリック])

- ・豊かな生活のため
- ・健康に生きるため
- ・文化的に暮らせるように
- ・安心して暮らせるように

「税金が使われているんだね！」



[クリック]で次画面へ

6 税金クイズ①

税金クイズ①



次のうち、税金で負担した公立の小学生1人あたりの年間教育費はいくらでしょうか？

1. 約30万円
2. 約60万円
3. 約90万円



答え

3番

教科書代、学校の建設費、机、いすの購入費、先生の給料などを含めると1人あたりの全国平均の金額は約90万円になります。

(注) この画面は、小学生向け〈講義型〉のパワーポイントテキストのものです。中学生向け〈講義型〉のパワーポイントテキストでは、中学生1人あたりの年間教育費のクイズになっています。中学生の年間教育費のクイズの正解は約「100万円」で3番となります。正確には101万1000円です。

税金クイズ① 《年間教育費》

(順番に[クリック])

「じゃあ、ここで皆さんにクイズです。次のうち、税金で負担した公立の小学校1人あたりの年間教育費はいくらでしょうか？」

1. 約30万円
2. 約60万円
3. 約90万円

(例えばじゃんけん方式で、それぞれゲー、チョキ、パーで列挙してもらう。講師はパーを出し、勝った人が正解とするなど工夫してください。)

[クリック]

答えは3番の「約90万円」です。

[クリック]

教科書代、学校の建設費、机、いすの購入費、先生の給料などを含めると公立小学校の児童1人あたりの全国平均の金額は約89万円になります。

(例えば、開催する都道府県の公立小学校の児童1人あたりの年間教育費の金額を調べておいて全国平均と比較してみるのもよいでしょう。)



[クリック]で次画面へ

7 税金がなかったら！

税金がなかったら！



税金がなかったら！

税金がなかったら！



税金がなかったら！

《もしも税金がなかったら！》

税金が私たちの生活の中で、どんなに大切な役割を果たしているのかを考えるのに、もし、税金がなかったらどうなるか考えてみましょう。

(順番に[クリック])

- ・道路が整備されなくなるかもしれない。
- ・病院に行けなくなるかもしれない。
- ・学校にも行けなくなるかもしれない。

(ここでは、断定的な言い方を避けて、「かもしれない」という可能性があるという表現にしています。)

その他のことも全部なくなってしまうかもしれないね。

「アレ〜!」「そうなるとどうなっちゃうかな」

- ・道路が舗装されないから事故が起きやすくなる。

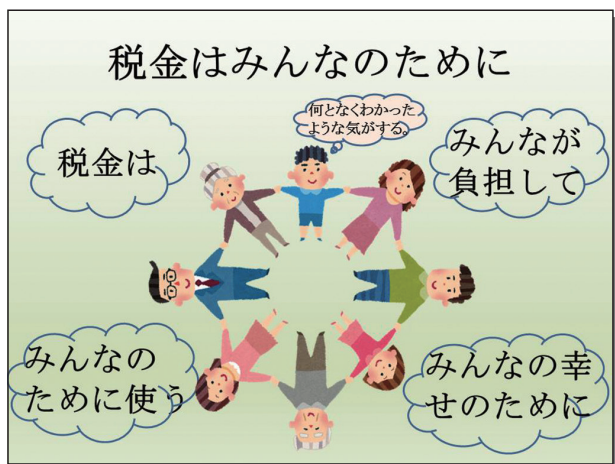
(以下 2 秒間隔で自動設定・クリック不要)

- ・病気は治らず、あちこち病気になるかもしれない。
- ・学校も教科書もないから、こんな風になっちゃう。
- ・火事が起きても、消しに来てくれないから、火災が広まっちゃう。
- ・泥棒は捕まらないから、安心して暮らせない。
- ・介護の必要なおじいさんも、途方に暮れる。
- ・ダムがないから渇水時には水不足になる。
- ・公園で遊べないから、寝て過ごすようになる？



[クリック]で次画面へ

8 税金はみんなのために



税金はみんなのために 《税金の意義のまとめ》

(順番に[\[クリック\]](#))

税金がないと、皆さんの生活は大変なことになってしまいます。

だから、税金はみんなから集めて、みんなのために使う大切なものですね。そして、それは皆さんの幸せのためにあるんですね。

(テーマの最後では、必ず理解の確認をしてください)

「じゃあ、次は具体的な集め方と使い方の説明をするよ。」



[\[クリック\]](#)で次画面へ

ここまでで約15分経過

2. 税金の種類と仕組み（テーマⅡ）

〈このテーマは約23分〉

1. 公平に集めるって？

9 税金クイズ②

税金クイズ②



日本の主な税金は、何種類くらいあるでしょう？

1. 約20種類
2. 約50種類
3. 約100種類

答え

2番

約50種類

答え

2番

約50種類

消費税、固定資産税、自動車税、酒税、たばこ税、法人税、所得税、相続税、贈与税、揮発油税、石油石炭税、航空機燃料税、石油ガス税、とん税、印紙税、自動車重量税、登録免許税、関税、県民税、事業税、不動産取得税、鉱区税、狩猟税、自動車取得税、地方消費税、ゴルフ場利用税、軽自動車税、鉱産税、都市計画税、水利地益税、共同施設税、宅地開発税、国民健康保険税、入湯税などがあります。

税金クイズ② 《税金の種類》

それでは、ここでまたクイズです。

現在、日本にはたくさんの税金があります。さて、主な税金は何種類くらいあるでしょうか？

（順番に[\[クリック\]](#)）

1. 約 20種類
2. 約 50種類
3. 約 100種類

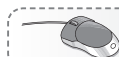
[\[クリック\]](#)

答えは、「約50種類」です。

[\[クリック\]](#)

なぜ、こんなに税金の種類があるかというと、1種類だけの集め方に限定してしまうと、負担する人が限られてしまって、負担する人の不公平感が増してしまうためです。

そこで約50種類の税金を組み合わせることで、立場や意見の違いが調整されることになり、全体として、できるだけ公平に負担してもらおうとする仕組みになっているのです。



[\[クリック\]](#)で次画面へ

10 税金の集め方ー公平ー

税金の集め方

キーワード
は「**公平**」



公平に集めるって？

どうやったら、公平に集められるかしら？

- ・みんなから同じ金額？
- ・持ってる人が全額負担？
- ・みんなから同じ率で？
- ・負担能力に応じて？

どうしたらいいの？



税金の集め方ー公平ー 《税金の集め方》

「みんなのために使うのだから、みんなから公平に集めたいですよね！そうじゃないと税金を納めるのがいやだって言う人が出てくるかもしれない。」

「では、どういう風に集めたら公平だと思いますか？」

[クリック]

女の子は「どうやったらみんなから公平に集められるのか悩んでいます。」

そして、四つの集め方を考えました。

(順番に[クリック])

一つめは、「みんなから同じ金額を集める方法」

二つめは、「一番多く持っている人（特定の人）が負担する方法」

三つめは、「みんなから同じ率で集める方法」

四つめは、「負担する能力に応じて、負担割合を変える方法」

どれが公平なのか、女の子は「どうしたらいいの？」と悩んでいます。

「じゃあ、それぞれの集め方を具体的に見てみましょう！皆さんは、Aさん、Bさん、Cさんのそれぞれの立場に立って考えてみてください。」



[クリック]で次画面へ

11

税金の集め方①

ーみんなから同じ金額を集める方法ー

みんなから同じ金額を集める

	持ってる お金	集める お金	残り	
Aさん	700	100	600	
Bさん	250	100	150	
Cさん	50	100	▲50	
計	1,000	300	700	

12

税金の集め方②

ー特定の人が全額負担する方法ー

特定の人が全額負担する

	持ってる お金	集める お金	残り	
Aさん	700	300	400	
Bさん	250	0	250	
Cさん	50	0	50	
計	1,000	300	700	

13

税金の集め方③

ーみんなから同じ率で集める方法ー

みんなから同じ率で集める

	持ってる お金	一律 30%	残り	
Aさん	700	210	490	
Bさん	250	75	175	
Cさん	50	15	35	
計	1,000	300	700	

税金の集め方①～④

《税金の集め方》

ここでは、みんな同じ額の100ずつ負担するようにしました。

(順番に[\[クリック\]](#))

Aさんは、みんなが同じ金額だから平等だと思っています。

ところがBさんは、Aさんと同じ金額を負担するのはおかしいんじゃないかと不満げです。

Cさんは、50しかないのに100の税金をどうやって負担しますか？借金して納めますか？「このままだと暮らしていけないよ！」

[\[クリック\]](#)

次は、一番多く持っている人だけ（特定の人）が全額を負担した場合です。

(順番に[\[クリック\]](#))

Bさんは、何となくAさんに申し訳ないような気持ちを持ちながら、小さな声で「ラッキー」とつぶやきました。

Cさんは、払えなかった100から0になって、思わず大声で「ラッキー」と叫んでしまいました。

ところが、Aさんは「なんで私だけが負担しなきゃいけないの！」と顔を真っ赤にして怒っています。ひょっとしたらもっと税金の安い他の国へ移住してしまうかもしれません。

[\[クリック\]](#)

今度は、みんなに同じ率で負担してもらうようにした場合です。

(順番に[\[クリック\]](#))

300を集めるのに率は30%にしました。AさんBさんは「何となく公平なのかなあ」という思いで不平を漏らすことはありません。

しかし、Cさんだけは、50しかない自分が15負担して35しか残らないので「負担がまだきついよ！これじゃ生活できないよ」と不満を漏らしています。

[\[クリック\]](#)

14

税金の集め方④

ー負担する能力に応じて集める方法ー

負担する能力に応じて集める

	持ってる お金	累進税率	残り	
Aさん	700	245 (35%)	455	
Bさん	250	50 (20%)	200	
Cさん	50	5 (10%)	45	
計	1,000	300	700	

税金の集め方①～④

《税金の集め方》

最後は、持っている金額で税率を変え、多く持っている人には高い税率で少ない人には低い税率で負担してもらう場合です。

(順番に[クリック])

Aさんは「しょうがないか!」と言っています。

Bさんは、同じ税率の時より下がったので、少し笑顔になっています。

Cさんも、これならなんとか払える金額だと少しほっとした表情になっています。



[クリック]で次画面へ

15

どれが公平な集め方？

どれが公平な集め方？

- ・みんなから同じ金額を集める方法
- ・特定の人が全額負担する方法
- ・みんなから同じ率で集める方法
- ・負担する能力に応じて集める方法



どれが公平な集め方？

《どれが公平な集め方？》

「今まで四つの集め方を考えてもらってきましたが、さて、皆さんはどれが公平な集め方だと思いますか？」

と問いかける。

(順番に[クリック])

(ここが租税教育で一番重要な部分です。)

税を題材にして「公平」を考えてもらうことは、租税教育における重要な学習支援の一つです。

- ・公平はいろいろな考え方があること
- ・平等は必ずしも公平ではないこと
- ・公平は不公平と背中合わせにあること
- ・立場が変われば公平の感じ方も変わる

これについて時間をかけてじっくり考えてもらいましょう。

それとともに、AさんとCさんによる「対立」が「合意」になる過程で個人の尊厳と人権を尊重する大切さを感じてもらいましょう。

ここが租税教育で一番重要な部分ですので、時間をかけてじっくりと授業をしてください。



[クリック]で次画面へ

16

税金をいろいろな方法・組み合わせで集めたら公平かな？

いろいろ組み合わせたら公平かな？

みんなから同じ金額を集める

--	--	--	--	--

特定の人が全額負担

--	--	--	--	--

同じ率で集める

--	--	--	--	--

負担する能力に応じて集める

--	--	--	--	--



いろいろ組み合わせたら公平かな？

みんなから同じ金額を集める



特定の人が全額負担

--	--	--	--	--

同じ率で集める

--	--	--	--	--

負担する能力に応じて集める

--	--	--	--	--



いろいろ組み合わせたら公平かな？

みんなから同じ金額を集める

--	--	--	--	--

特定の人が全額負担



同じ率で集める

--	--	--	--	--

負担する能力に応じて集める

--	--	--	--	--

税金をいろいろな方法・組み合わせで集めたら公平かな？《いろいろ組み合わせたら公平かな？》

これらの集め方は全てある意味公平ですよ。ただ、1種類だけの集め方に限定してしまうとより多くの人が公平だと感じるのは難しいのです。

だから、日本ではいろいろな税金をいろいろな方法で集めています。

[\[クリック\]](#)

例えば、みんなから広く同じ額を集める税金として、皆さんも買い物をした時に負担している消費税があげられます。

〔「15 どれが公平な集め方？」でも記載したとおり、児童生徒に「公平」について「税」を題材にして考えてもらうことは、租税教育においてとても重要な学習支援の一つです。〕

「公平」について考え理解してもらい、同時に個人の尊厳と人権尊重の大切さを感じてもらいます。

また、多くの税目はそれぞれが公平の概念に基づき制定されているものの、単独の1税目だけでは課税の公平は実現できないこと、そのためにいろいろ組み合わせることのできるだけ公平を実現させる仕組みを理解してもらいます。〕

[\[クリック\]](#)

今度は、持っている人が負担する税金です。固定資産税は、土地や建物を持っている人が負担しています。自動車税は、自動車を持っている人が負担する税金。お酒を買った人は、購入するごとに酒税を負担しています。最後のたばこ税は、たばこを吸う人が負担する税金で、価格のうち60%を超える部分が税金です。これは、とても税金の占める割合が多いものの一つです。

[\[クリック\]](#)

いろいろ組み合わせたら公平かな？

みんなから同じ金額を集める

特定の人が全額負担

同じ率で集める



負担する能力に応じて集める



いろいろ組み合わせたら公平かな？

みんなから同じ金額を集める

特定の人が全額負担

同じ率で集める

負担する能力に応じて集める



いろいろ組み合わせたら公平かな？

みんなから同じ金額を集める



特定の人が全額負担



同じ率で集める



負担する能力に応じて集める



税金をいろいろな方法・組み合わせで集めたら公平かな？《いろいろ組み合わせたら公平かな？》

三つめは、同じ率で集める税金です。法人税は会社や団体の所得にかかってくる税金で、毎年、その会社の所得に一定の率でかかってきます。

(所得という言葉は、児童生徒の理解度に応じて、「もうけ」や「利益」という簡単な言葉に置き換えて使用してください。)

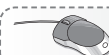
[クリック]

最後は、負担する能力に応じて税率が変わってくる税金です。

所得税は、所得の多い人にはより高い税率で負担してもらい、所得の少ない人には低い税率で負担してもらう税金です。これを累進課税と呼んでいます。所得が一定の金額に満たない場合には、所得税を負担しなくてもよいことになっています。

相続税や贈与税は、亡くなった人が残した財産を引き継ぐ時やお金や物をもらった時に負担する税金です。このような負担の方法は、裕福な人がますます裕福になり、貧しい人がどんどん貧しくなることを防ぐようにする機能も持っています。

[クリック]



[クリック]で次画面へ

2. 公平に使うって？

17 税金の使い方—公平—

税金の使い方

キーワードは今度も
「公平」

税金の使い方—公平— 《税金の使い方》

さあ、次は税金の使い方についてです。
「集めた税金はみんなから集めたのだから
みんなが『公平な使い方だ。』って思える
ように使わなくてはいけないよね。でも、
税金を使って実現したいことってみんな同
じなのかな？」

（「公平に使う」という説明については、様々
な意見がありますが、「公平に集めて、公
平に使う」という一連の流れで、児童生徒
に理解しやすいように使用しました。みん
なの合意を得られる、あるいはみんなが納
得する使い方という意味でここでは使って
います。）



【クリック】で次画面へ

18 税金を公平に使うって？

公平に使うって？

どうやったら、公平に使える
のかなあ？

- ・豊かな生活のため？
- ・健康に生きるため？
- ・文化的に暮らせるように？
- ・安心して暮らせるように？

むずかしい！

税金を公平に使うって？ 《税金の使い方》

（順番に【クリック】）

公平に集めることをお話しましたが、
折角、公平に集めた税金もその使い方が、
特定の人だけに使われてしまったら、公平
に集めた意味がなくなっちゃうよね。

税金の目的は、私たちが、豊かで文化的
な生活を送り、健康で安心して暮らすため
に使うことでした。

「でも、税金を使って実現したいことっ
てみんな同じなのかな？」

どうしたら公平に使えばいいのか考えて
みましょう。



【クリック】で次画面へ

19 豊かな町づくり

豊かな町づくり 1

健康で文化的・豊かな生活をおくるために必要なものは何？



道路整備



介護



ダム



公園



教育



消防署



市民病院



飛行場



警察署

いくらかかるかな？	
道路整備	100億円
公園	5億円
市民病院	30億円
介護	40億円
教育	90億円
飛行場	300億円
ダム	400億円
消防署	20億円
警察署	15億円
合計	1000億円
予算	700億円
差引	▲300億円

豊かな町づくり 2

ダムは今じゃなくてもいいと思う

うちのおばあちゃんは、介護が必要

ややこしい話は苦手だけど、無駄なものを減らせばいいんじゃない

優先順位をつけたらいいと思う

減らすものと借金で行うものと分けたらいい

豊かな町づくり 3

みんなの将来だから、税金を何に使うのかよく話し合っ
て決めることが大事だよ。決めたことは、みんなにはね返ってくるよ。皆一人一人が主人公だから・・・
答えは・・・

豊かな町づくり 《税金の使い方》

(順番に[クリック])

- 税金の使い方の例を挙げてみると、
- ・豊かな暮らしのためには、道路や公園
 - ・健康に生きられるように、市民病院や介護制度
 - ・文化的に暮らせるように、教育制度や飛行場
 - ・安心して暮らすためには、ダムや消防署や警察など

そのほかにも様々なものが必要になります。

これらを全部揃えると1000億円のお金が必要になりますが、お金（予算）は700億円しかありません。どれも役立つ事柄ばかりだけど、このままでは、300億円足りません。

皆さんは、どう考えますか？

(順番に[クリック])

A君は、「ダムは今造らなくても何年か先でもいいんじゃないか」と考えました。

Bさんは、「優先順位をつけたらいい」と言います。

Cさんが「うちのおばあちゃんは、介護が必要」といって介護制度の充実を強く主張します。

今度はD君が、「減らすものと借金で行うものと分けたらいい」と考えました。

あくびをしていた女の子も、「無駄なものを減らせばいいんじゃない」と言いました。

「本当にいろんな意見が出ますね。でも、何が正解というのは難しいです。」

(順番に[クリック])

「みんなの将来だから、税金を何に使うのかよく話し合っ
て決めることが大事だよ。決めたことは、みんなに跳ね返ってくるよ。立場や意見の違いでいろんな考えがあるから、少数意見も大事だよ。対立の中から合意を見つけてみんなが納得できる制度にできるといいね。」

「答えは、一つじゃないんだよ。・・・」



[クリック]で次画面へ

3. 税金から見た民主主義

20

民主主義

—「私たちが主人公」「思いやり」—

次のキーワードは

「民主主義」

民主主義—「私たちが主人公」「思いやり」—《税金から見た民主主義》

これまで、税金の集め方・使い方を通じて、「公平」について考えてもらいました。「公平」を実現していくためには、大切なことが二つあります。

一つは、私たちのことは私たち自身で考え、決めていくということです。私たちが暮らしている社会は「私たちが主人公」なのです。

もう一つは、みんなから集めて、みんなのために使う税金ですから、自分だけではなく、みんなのことを「思いやり」をもって考えていくことが大切です。

このように「私たちが主人公」と「思いやり」という言葉は税金と深くつながっています。このつながりについて、もう少し詳しく考えていくことにしましょう。

次のキーワードは「民主主義」です。



【クリック】で次画面へ

21 税金から見た民主主義って何？① — 私たちが主人公 —

税金から見た民主主義って何？

税金から見た民主主義って何？

私たちが主人公
(国民主権)

社会と積極的に関わる



22 税金から見た民主主義って何？② — 法律を作る —

税金から見た民主主義って何？

私たちが主人公
(国民主権)

社会と積極的に関わる



法律を作る
(租税法律主義)



税金から見た民主主義って何？①～⑤ 《税金から見た民主主義》

皆さんは、民主主義という言葉を知っていますか？ 税金の制度は、民主主義を凝縮（小さく固めた）した仕組みになっていますので、税金から民主主義がどのようなものか説明してみましょう。

（順番に[\[クリック\]](#)）

まず、非常に簡単に言うと民主主義は、国民一人一人が主人公になるということです。主人公になって社会と積極的に関わっていきます。

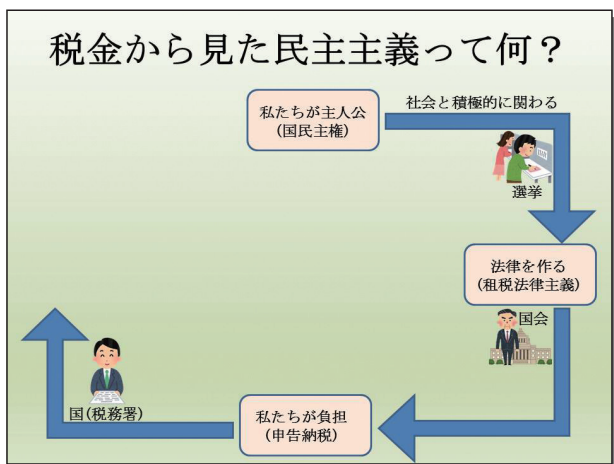
具体的には、選挙で自分の考えが反映されるような候補者を選んで、自分が目指す社会を作っていきます。

そして、選挙で選ばれた人は、国会というところで法律を作ります。税金に関することはこの法律で定めたものでなければなりません。

これを難しい言葉で、「租税法律主義」と言います。

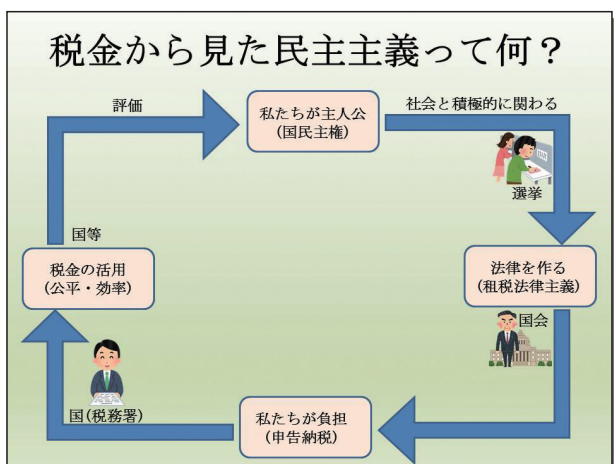
23 税金から見た民主主義って何？③ ー私たちが負担ー

税金から見た民主主義って何？



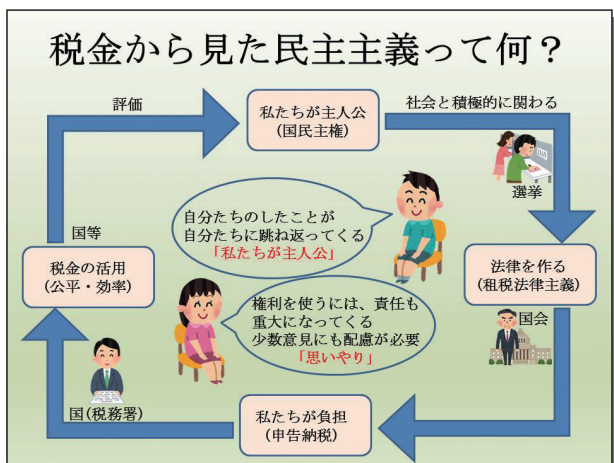
24 税金から見た民主主義って何？④ ー税金の活用ー

税金から見た民主主義って何？



25 税金から見た民主主義って何？⑤ ーまとめー

税金から見た民主主義って何？



税金から見た民主主義って何？①～⑤ 《税金から見た民主主義》

(順番に[クリック](#))

自分たちが選んだ人が、いろいろと考えを巡らしてみんなが納得できるような税金に関する法律を作ります。その税金を負担するのは、私たち国民です。

そして、法律によって決められた計算方法で自分の負担する税金を自ら計算して納める仕組みが「申告納税制度」と呼ばれるもので、計算によって納める税額が出た場合には、その金額を税務署に納めることになります。

集められた税金が、公平に使われているか、そして無駄なく効率的に使われているかどうか、チェックするのも主人公の国民です。

法律の評価（良し悪し）を私たち国民が判断して、法律の改正を求めたり、効率的に使われていない場合には、その運用方法が適正に行われるように、選挙を通して自分たちの意見が反映されるような候補者を選出します。

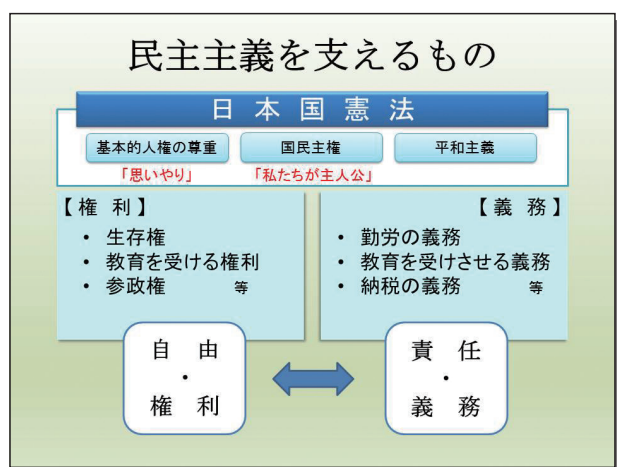
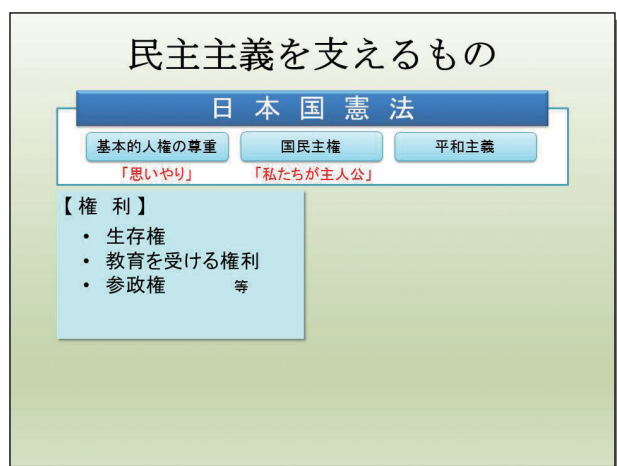
つまり、自分の行為が、巡り巡って最後には自分に跳ね返ってくるのが民主主義です。

自分の権利を使う場合には、その責任も同時に負わなければならないし、自分と違う少数意見にも十分配慮して、公平な扱いがされるようにすることも大切です。これが民主主義であり、税金の世界は、それがいろいろな場面で反映されているところなのです。



[クリック](#)で次画面へ

26 民主主義を支えるものー「日本国憲法」ー



民主主義を支えるもの《税金から見た民主主義》、《納税の義務》

次に日本の民主主義を支えているものが、憲法です。

日本国憲法では、最初に「国民主権」つまり、私たち一人一人が主人公だと定めています。

そして、私たちが持っている権利についても定めています。主なものをあげると、

(順番に[\[クリック\]](#))

- ・「生存権」…これは、健康で文化的な生活を営む権利を言います。
- ・「教育を受ける権利」…これは、みんなが教育を受ける権利を言います。
- ・「参政権」…政治に参加して自分の思いを政治に反映させる権利で、選挙権（被選挙権）とも言います。

権利を定める一方で、義務についても定めています。

- ・「勤労の義務」…働ける人はきちんと働くということ。
- ・「教育を受けさせる義務」…保護者には教育を受けさせる義務があります。小・中学校は、義務教育と呼ばれ、原則、学校にかかるお金は税金から支出されることになっています。
- ・「納税の義務」…法律に従って税金を納めること。

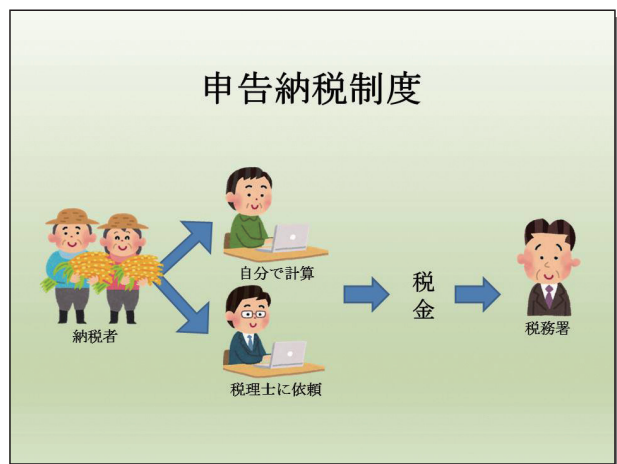
ただし、納税の義務には“国民”の前に“すべて”という言葉がありません。このことは、無理やり徴収されるものではなく、国民はそれぞれの力に応じてその責任を果たすことが求められ、法律の定めに従って、その義務を果たすことが求められています。

このように、権利を主張するためには、義務を果たさなければならないし、自由であるためには、責任を果たさなければ自由でいられません。



[\[クリック\]](#)で次画面へ

27 申告納税制度



申告納税制度《納税の義務》

(順番に[\[クリック\]](#))

税金は、義務だから納めるというだけでなく、自分たちで決めたルールに従って、みんなから集めて、みんなのために使うものです。だから、原則として自分の税金は自分で計算して自分で納める制度になっています。これを「申告納税制度」といいます。

自らが主人公として、誇りをもって税金を納めることは、みんなが幸せになれる社会作りの基礎になっています。

【「財政」の授業を行う場合】

では、最後にこのようにして集められた税金がいくらになって、どれくらいのお金が使われているかという「国の財政」の状態について考えてみましょう。

(現在の日本が抱える課題について認識し、関心を抱き、児童生徒自らが考えて判断できる国民として成長できるきっかけ作りを目的とします。)



[\[クリック\]](#)で次画面へ

ここまでで約38分経過

「財政」のテーマが時間の都合で行えない場合は、スライドをクリックして「33 今日の授業でおぼえておいてほしいこと」から引き続き授業を行ってください。

3. 財政の役割（テーマⅢ）

〈このテーマは約5分〉

財源の確保と配分という観点から見た財政の役割

講義用テキスト

28 財政の現状と課題



財政の現状と課題

財政というと少し難しい言葉ですよ。財政とは、国などがお金を集めたり使ったりする活動とその管理のことを言います。

簡単に言うと、国のお財布の状態のことです。

今日、ここまでやってきたことが、正に財政のお話でもあったわけです。

税金の集め方と使い方を勉強しました。

税金の集め方は、財政のうちの収入（歳入）のお話です。

また、税金がどのように使われているかが財政のうちの支出（歳出）のお話です。

[\[クリック\]](#)

では、実際に日本の財政の状態を見てみましょう。

今、日本は税金で集めるお金より、使うお金が多いために借金がどんどん増えていきます。

みんなの生まれた頃の国の借金は、平成18年度は約532兆円（**小学6年の場合**）でしたが、平成30年度末（＝平成31年3月末）には約883兆円に増加する予定です。

中学1年の場合、平成17年度で527兆円
中学2年の場合、平成16年度で499兆円
中学3年の場合、平成15年度で457兆円

[\[クリック\]](#)

平成30年度の国の予算案では支出額は約97.7兆円になっています。

これに対し税金等の収入はいくらあると思いますか？

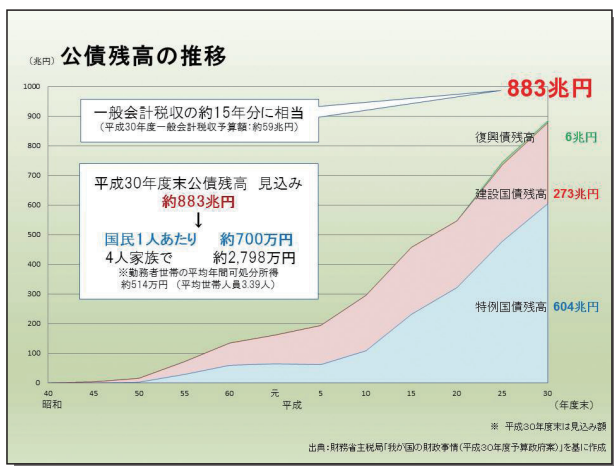
実は、約64兆円しかないのです。支出として必要なお金のうち、66%程度ということですね。

では、あと34%はどうやって賄ったのでしょうか。

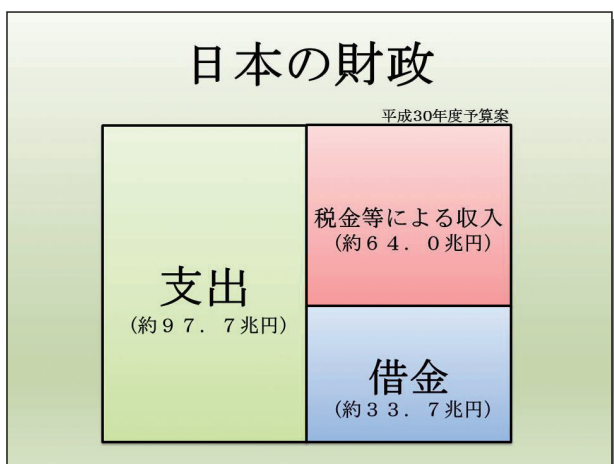
それは国債という借入によって賄われているのです。

（そのうちの半分以上は、過去の借入の返済に充てられ、残りが新たな借入です。）

29 国の公債残高の推移

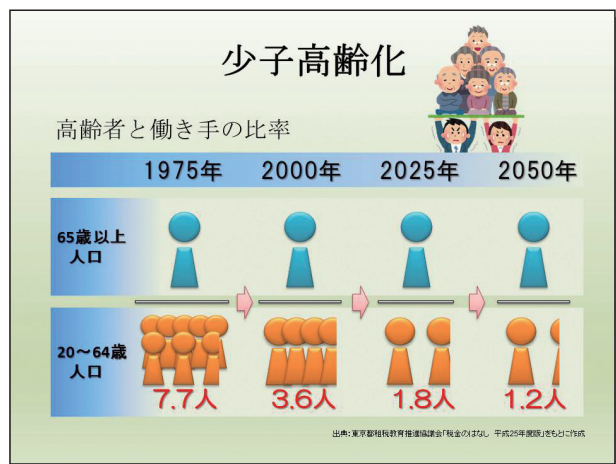


30 日本の財政



[\[クリック\]](#)で次画面へ

31 少子高齢化〈中学生向け〉



(注) この画面は、中学生向け〈講義型〉のパワーポイントテキストのものです。小学生向け〈講義型〉のパワーポイントテキストには、少子高齢化についての説明はありません。

32 今後の課題

今後の課題

解決方法は

1. 増税して収入を増やす
2. 支出を減らす
3.



少子高齢化

しかしここで、将来に向けての不安もあります。生まれてくる子どもが少なくなるとともに、働いている人たちが高齢になることが予想されています。これを少子高齢化と言いますが、働く世代の人口減少で税金は今後ますます集まりにくくなるかもしれません。

一方で、社会保障費の増加などで、税金は現在よりもさらに多く必要となっていくでしょう。

 [【クリック】で次画面へ](#)

今後の課題《宿題》

お金が足りない場合の解決方法として一つは、もっと多くのお金を集めること、つまり増税ですね。増税以外にも、景気がよくなれば、会社の利益や個人の収入も増えるので、自然と税収も増えますよね。

二つめは、使うお金を減らすことです。でも、必要な支出を減らすと困る人が出てくるので、無駄遣いをしない努力も必要でしょう。

国会では、この二つについて多くの議論がされています。

この議論は、どちらか一方だけが正しい解決方法ではなく、二つの方法のバランスをとることが大切です。

そして三つめの方法、あるいは、他にも良い方法が将来見つかるかもしれません。

 [【クリック】で次画面へ](#)

33 今日の授業で覚えておいてほしいこと

- ・ 思 い や り
- ・ 私たちが主人公



宿 題

期限：大人になるまで

今日の授業で覚えておいてほしいこと 《宿題》

どうやったらみんなから公平に集めて集めた税金を公平に使うのか、とても難しい問題で、簡単には結論を出すことはできません。「私たちが主人公」と「思いやり」という言葉をヒントに考えてみてください。

[クリック]

将来、みんなが日本をどういう国にしたいのか、そして、自分たちの住む社会をどういうものにしたいのか？この問題はみんなが大人になるまでの宿題です。

(大人になるまでと言うのは、じっくりと考えてもらい、明確な期限をもうけずに、その後も考え続けて最良の方法を模索してもらうための表現として使っています。)

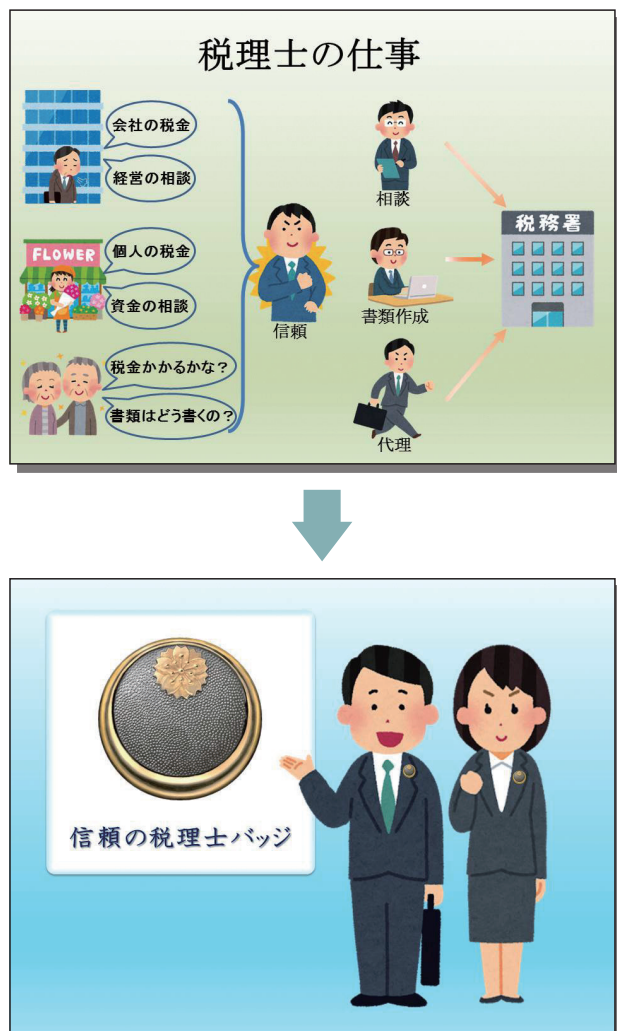
今日の授業の話をして、おうちの人とも話してみてください。



[クリック]で次画面へ

おわりに

34 税理士の仕事



税理士の仕事《税理士の仕事》

具体的に税理士は、こんな仕事をしています。

(順番に[クリック])

- ・会社の税金で分からないことがある。
- ・経営判断に迷って相談したい。
- ・個人商店の税金で相談したい。
- ・お店の資金の相談に乗ってほしい。
- ・家を建てたり、物をもらったりして、税金がかかるのかどうか分からないので、話を聞きたい。
- ・書類の書き方が分からない。

こんなとき頼りになるのが税理士です。

税理士は、そういう人たちの相談に乗ったり、書類を作成したり、本人に代わって税務署に出向いて交渉したりする仕事をしています。

(税理士の仕事は、冒頭の自己紹介のところで行う方が、スムーズな流れですが、申告納税制度の説明の後で行う方が、児童生徒にわかりやすいことと、時間の関係で省略することも考えて、最後に持ってきてあります。最初に説明する場合には、適宜、入れ替えてください。)

税理士は、こんなバッジをつけています。



[クリック]するとスライド終了となります。